

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は10月9日のst.2で2.4mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は10月3日のst.12で2.1mg/Lであった。</p>		<p>今月の県施工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、汚濁防止膜移設、鋼管杭引抜き、閉塞工、足場工、汚濁防止膜撤去等が行われていた。施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工事は、仮航路浚渫工事で、汚濁防止膜設置、仮航路浚渫、土運船運搬、揚土、排砂管設備工、潜水探査等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>	
水質調査結果	詳細結果	<p>クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】 全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は0.6mg/L、0.2～2.4mg/Lの範囲で推移していた。</p>		
	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】 全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は0.4mg/L、0.2～2.1mg/Lの範囲で推移していた。</p>			
	<p>流入部負荷量の調査地点 SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=11回(23計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(23計測中) 平均値は15.9mg/L、2.2～35.7mg/Lの範囲で推移していた。</p>			
	<p>流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。 10/13の35.7mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日1.5mm、当日0.0mmであった。</p>			
基準超過時の気象概況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
基準超過時の工事状況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>			

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は10月3日(PM)のst.5で観測された6.8 mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>工事に伴う濁りは確認されなかった。</p>	
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り 監視地点 基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p> <p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.1 mg/L、<1.0～6.8 mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>特になし</p>	
		<p>流入部負荷量 の調査地点</p> <p>SS=11 mg/Lを超えた回数: st.14 = 23計測中20回 st.15 = 23計測中15回</p> <p>SS=50 mg/Lを超えた回数: st.14 = 23計測中1回 st.15 = 23計測中0回</p>	<p>特になし</p>	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p> <p>st.14: 10/9 (PM 上げ潮時) 61 mg/Lが最大値であった。 なお、調査前までの降水量は前々日0.5mm、前日1.0mm、当日0.0mmであった。(気象庁・胡屋)</p> <p>st.15: 10/13 (PM 上げ潮時) 38 mg/Lが最大値であった。 なお、調査前までの降水量は前々日0.0mm、前日1.5mm、当日0.0mmであった。(気象庁・胡屋)</p>	<p>—</p>	
基準 超過 時の 気象 概況	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
基準 超過 時の 工事 状況	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			

